

事業名	県民芸術文化祭開催事業 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	文化の香り高いふるさと大分の実現を目指して、県民に文化活動の発表の場と芸術鑑賞の機会を広く提供するため、県民芸術文化祭を実施する。	事業期間	平成11年度 、 平成 年度
-----	------------------------------	-------	---	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)
芸術文化フェスティバル	実行委員会 文化団体	県民 文化団体	開幕行事、閉幕行事、県美展を開催(3行事) 研修事業、記念行事、ジャンル別文化行事、若者文化行事を 開催(25行事)	決算額	27,500	21,200	25,000	20,000
				国庫支出金				
地域文化フェスティバル	実行委員会 文化団体	県民 文化団体	地域文化行事を開催(5行事)	繰入金	11,500	10,000	10,000	10,000
				その他	5,000	1,200	5,000	
参加行事	文化団体 文化団体	文化団体による関連催事を後援(183行事) 全体総参加者数318,561人(うち主催行事参加者数40,880人)		一般財源	11,000	10,000	10,000	10,000
				職員数(人)	1.00	1.00	0.80	0.80
				人件費	10,000	10,000	8,000	8,000
				合計	37,500	31,200	33,000	28,000

[事業の成果等]

県内各地で開催された行事は216にのぼり、全体総参加者数は約32万人を数えた。芸術・伝統・生活など多様なジャンルの文化行事を開催し、県民に文化の発表・鑑賞機会を提供することにより、地域文化の活性化を図ることができた。

[成果指標・実績]

(単位：行事)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	開催行事数	目標値	180	180	180	180		達成	
		実績値	192	209	216				
		達成率	106.7%	116.1%	120.0%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている (拡大困難)	・実行委員会事務局を民間団体(大分県芸術文化振興会議)に移管 ・各種助成制度や基金の積極的な活用	139千円/行事	21年度決算額合計 / 開催行事数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの 協働が可能	実行委員会事務局は17年度から民間団体に移管しており、民間団体が運営主体となっている。しかし、県民芸術文化祭は個々の文化団体の発表機会であるとともに、全ての県民が文化活動の発表と鑑賞の機会を等しく得るための事業であり、県民の芸術文化振興策として非常に有効な事業であるため、民間団体と協働しつつ引き続き県が支援していく必要がある。

[総合評価]

方向性	現状維持
改善計画等	・各種助成制度や基金を活用することにより、事業規模は維持する予定

事業名	芸術文化基金事業 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	本県の文化芸術活動の振興を図るため、大分県芸術文化基金を活用した事業を実施する。	事業期間	昭和60年度 ↓ 平成 年度
-----	---------------------------	-------	--	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)
芸術文化団体補助 芸術鑑賞(文化キャラバン) 文化芸術活動調査研究・情報発信	大分県 芸術文化 振興会議	県民 文化団体	文化活動実施団体に対する補助(57団体) 県内小中学校等での公演・展示(29会場) 大分県文化年鑑の発行やホームページによる情報発信 (団体会員165団体、個人会員149名)	決算額	7,621	7,621	7,621	7,621
				国庫支出金				
				繰入金	7,621	7,621	7,621	7,621
				一般財源				
				職員数(人)	0.3	0.3	0.3	0.3
				人件費	3,000	3,000	3,000	3,000
合計	10,621	10,621	10,621	10,621				

[事業の成果等]

芸術文化団体の自主的な活動を支援することにより、芸術文化の振興に寄与することができた。

[成果指標・実績]

(単位：団体)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	文化活動実施団体数	目標値	50	50	50	50		達成	
		実績値	52	58	57				
		達成率	104.0%	116.0%	114.0%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている (拡大困難)	・民間団体(NPO法人大分県芸術文化振興会議)に移管	186千円/団体	21年度決算額合計 / 文化活動実施団体数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの協働が可能	本来は県が実施すべき文化芸術活動支援をNPO法人大分県芸術文化振興会議の活動が実質的に担っていることから、文化団体自ら積み立てた大分芸術文化基金を活用しながら、今後も財政面及び活動面を県が支援していく必要がある。

[総合評価]

方向性	現状維持
改善計画等	・NPO法人大分県芸術文化振興会議とのより一層の連携

事業名	別府アルゲリッチ音楽祭 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、大分から国内外に向けた芸術文化の情報発信を行うために、巨匠マルタ・アルゲリッチを総監督とする国際的な音楽祭を開催する。	事業期間	平成10年度 ～ 平成 年度
-----	------------------------------	-------	--	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)
デュオの響演 マラソン・コンサート 県出身若手演奏家コンサート 子どものための無料コンサート 地域関連コンサート	アルゲリッチ芸術振興財団	県民・県外者	世界一流のソリストの共演によるデュオコンサート	決算額	30,000	30,000	30,000	30,000
		県民・県外者	世界一流の演奏家による室内楽コンサート	財源内訳				
		県出身音楽家	県出身の若手演奏家によるコンサート	国庫支出金				
	各地域の主催者	県民	学校訪問コンサートほか	繰入金			533	533
		県民	別府、大分以外の地域でのコンサート	一般財源				
				職員数(人)	30,000	30,000	29,467	29,467
			人件費	1,000	1,000	1,000	0,800	
			合計	10,000	10,000	10,000	8,000	
				40,000	40,000	40,000	38,000	

[事業の成果等]

巨匠マルタ・アルゲリッチを中心とする国際音楽祭を、別府市、大分市の主会場のほか県内地域で開催することにより、県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、国内外に向けて最高レベルの芸術イベント開催地として情報を発信することができた。

[成果指標・実績]

(単位：人)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	総入場者数	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000		達成	
		実績値	8,860	8,970	8,283				
		達成率	177.2%	179.4%	165.7%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	一部図っている(拡大可能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公演毎に実施するアンケートの結果を事業遂行に反映</li> <li>・ボランティアとの協働を推進</li> </ul>		

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	アルゲリッチ芸術振興財団が音楽祭の運営を主体的に行っているが、当音楽祭は、本県を代表する文化創造事業であり、県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、大分県の芸術文化を国内外に情報発信していくため、県のサポートが必要。

[総合評価]

方向性	見直し(22年度) 効率化の推進
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22年度は、音楽祭の運営主体であるアルゲリッチ芸術振興財団の体制強化を支援するとともに、幅広い県民の理解を得るため、こども達や県民が本物の音楽に触れる機会となる「ピノキオ・コンサート」や「病院訪問」コンサート等の音楽を通じた社会貢献活動を一層充実させる予定</li> <li>・22年度は、ボランティアとの協働を一層推進させ、音楽を通じた地域振興に取り組むとともに事務の効率化を図る予定</li> <li>・23年度は、来場者及び収入の増加に向けて、県内外からの誘客促進策を検討</li> </ul>

事業名	大分アジア彫刻展 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	本県出身の朝倉文夫を顕彰し、県民に多様な彫刻芸術に触れる機会を提供するとともに、芸術文化面でのアジア諸国との国際交流を一層進めるため、国内及びアジア諸国の新進彫刻家を対象とした彫刻展を開催する。	事業期間	平成 4 年度 5 平成 年度
-----	---------------------------	-------	---	------	-----------------------

【事業の実施状況】

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)	
大分アジア彫刻展(公募) ”現代(いま)のかたち” ワークショップ 大分県民芸術文化祭ジャンル別行事	大分アジア彫刻展 実行委員会	アジア諸国 県民 小・中学生 小・中学生	コンクール出品作品募集 ・一般部門(361作品) ・学生部門(70作品) 過去の入賞作品の紹介展示(臼杵市・1,982名来場、大分市・1,558名来場) 過去の受賞者による造形制作体験教室(33名参加) 県内アーティストによる針金の立体造形制作を体験するワークショップ(25名参加)	決算額	4,250	7,225	4,250	8,225	
				財源内訳					
				国庫支出金					
				繰入金		7,225	4,250	8,225	
				一般財源	4,250				
				職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
人件費	5,000	5,000	5,000	5,000					
合計	9,250	12,225	9,250	13,225					

【事業の成果等】

国内及びアジア諸国から431作品と過去2番目に多い応募総数となった。特に、国内では学生部門を新設したこともあり、これまでの最多応募数(206作品)となった。各種ワークショップの開催により、県民の芸術文化の意欲を高めるとともに、”現代(いま)のかたち”の開催により、広く県民に質の高い芸術に触れる機会を提供した。

【成果指標・実績】

(単位：点)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	作品応募数	目標値	459		459			概ね達成	ビエンナーレ(隔年)方式をとるため、隔年で事業の成果を記載している。
		実績値	311		431				
		達成率	67.8%		93.9%				

【実施方法の効率性】

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	一部図っている (拡大可能)	・ワークショップを大分県民芸術文化祭実行委員会と共催	21千円/点	21年度決算額合計 / 作品応募数

【県が実施する必要性】

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による 実施が必要	大分県出身の朝倉文夫を顕彰する大分アジア彫刻展を、県民の文化創造の意欲を高め、優れた芸術文化作品を鑑賞する契機とし、また彫刻芸術を通じたアジア諸国との国際交流を推進するためには地元豊後大野市と連携(共催)して県が実施する必要がある。

【総合評価】

方向性	見直し(22年度) 事業内容の拡充
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの県民が参加できる事業にするため、来場者参加型のアーティスト・イン・レジデンス事業を実施</li> <li>・県外へのPRを目的に”現代(いま)のかたち”を福岡アジア美術館で開催するほか、県外を出発地とした鑑賞バスツアーを実施</li> <li>・全国に情報発信するため、全国こども彫刻展を実施</li> <li>・地域に根ざした行事を目指し、市民参加型の野外彫刻コンクール「豊後大野市 まちじゅう・ちょうこく・フェスティバル」を開催</li> </ul>

事業名	地域の明日を拓く人づくり支援事業 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	地域住民参画のもと行われる芸術文化活動に対して支援し、芸術文化を通じた地域の活性化を図る。	事業期間	平成15年度 ～ 平成 年度
-----	-----------------------------------	-------	---	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)	
地域の明日を拓く人づくり支援事業	県	文化芸術団体	地域における次代の文化活動の担い手となる子どもたちの芸術文化活動の支援や、地域住民参画のもと行われる優れた文化活動等の支援  (実績) 支援団体数 4 支援額 4団体×500千円=2,000千円	決算額	3,439	3,836	2,306	4,306	
				財源内訳	国庫支出金				
					繰入金		3,836	2,306	4,306
					一般財源	3,439			
				職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	
				人件費	2,000	2,000	2,000	2,000	
				合計	5,439	5,836	4,306	6,306	

[事業の成果等]

次代の文化活動を担う子どもたちの活動や県内各地で開催された地域住民が参加する公演や活動に対して助成することにより、県内の文化芸術活動の活性化に貢献した。

[成果指標・実績]

(単位：団体)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
活動指標	補助団体数	目標値	8	7	4	4		達成	
		実績値	8	7	4				
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	一部図っている(拡大可能)	・文化芸術団体の多様な活動を支援するため、募集期限をなくし、随時受付に変更	1,077千円/団体	21年度決算額合計 / 補助団体数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	県内全域を活動区域とする文化芸術団体の活動を支援するためには、県による事業の実施が必要である。

[総合評価]

方向性	見直し(22年度) 事業内容の拡充
改善計画等	・先進的な取組をより支援するため、補助限度額を500千円から1,000千円に増額

事業名	青少年舞台芸術鑑賞事業 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	中学生・高校生が本物の舞台芸術等に触れることにより、文化に対する関心を高め、地域で行われる文化活動に積極的に参加するきっかけを提供し、地域文化の明日を担う人材を育成する。	事業期間	平成16年度 ～ 平成 年度
-----	------------------------------	-------	---	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)		
青少年舞台芸術鑑賞事業	県	中学生 高校生	学校を通じて、県内で行われる質の高い舞台公演及び美術展覧会の鑑賞希望者を募り、招待者を決定後、学校あてにチケットを送付  <実績> 学校数 87校 鑑賞者数 951人 公演数 40公演	決算額	3,435	3,435	3,435	3,435		
				財 源 内 訳	国庫支出金					
					繰入金	3,435	3,435	3,435	3,435	
					一般財源					
				職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10		
				人件費	1,000	1,000	1,000	1,000		
				合計	4,435	4,435	4,435	4,435		

[事業の成果等]

公演後のアンケート調査では、「公演を観たのは初めてで、今まではあまり興味がなかったが、もっと早くから観ておけば良かったと思った」「初めての生の舞台はとても感動した」「チケットの値段が高く、自分のお小遣いでは行くことができないので鑑賞できて良かった」といった感想が寄せられ、子どもたちにとって、文化芸術に触れるきっかけとして充分機能している。

[成果指標・実績]

(単位：人)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	鑑賞者数	目標値	660	660	660	660		達成	
		実績値	938	946	951				
		達成率	142.1%	143.3%	144.1%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・平成20年度から事務を民間団体(NPO法人大分県芸術文化振興会)に委託	4,664円/人	21年度決算額合計 / 鑑賞者数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの協働が可能	次代の文化の担い手となる子どもたちに対して文化的環境を整備することは県の役割であり、引き続き県が実施することが必要である。

[総合評価]

方向性	現状維持
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの子どもたちにとって文化芸術に触れる契機となるよう学校へ周知</li> <li>・市町村により利用状況に差があるので、23年度は、事業周知の強化などを検討</li> </ul>

事業名	香りの文化振興事業 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	旧香りの森博物館の収蔵品を活用し、「大分香りの博物館」と連携しながら、県民に香りの文化に親しむ機会を提供する。	事業期間	平成19年度 ～ 平成 年度
-----	----------------------------	-------	---	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)	
香りの文化振興PR事業  「観香マップ」作成  著名人による情報発信事業	県	県民	オンパク期間中に香りに関するイベントを実施 5事業に112名が参加 香りに関する名所を紹介する地図を作成 10,000部作成 平原綾香「癒しと香りのトークショー」を実施 平成22年3月13日(土) 大分香りの博物館	決算額		5,163	3,158	3,159	
				財源内訳	国庫支出金				
					繰入金		5,163	3,158	3,159
					一般財源				
				職員数(人)		0.20	0.20	0.20	
				人件費		2,000	2,000	2,000	
				合計		7,163	5,158	5,159	

[事業の成果等]

第18回全国ハーブサミット別府大会にあわせた香りに関するマップの作成、オンパク期間中に香りに関するイベントの実施、著名人によるトークショーの開催など積極的な情報発信を行ったことにより、入館者の増加につながった。

[成果指標・実績]

(単位：人)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	入館者数	目標値		20,000	21,000	22,050		達成	平成19年11月29日開館。
		実績値		20,939	27,705				
		達成率		104.7%	131.9%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている (拡大困難)	・大分香りの博物館と連携しながら事業を実施	186円/人	21年度決算額合計 / 入館者数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	県の財産である旧香りの森博物館の収蔵品を貸し付けて実施している事業のため、県有財産をうまく活用し、スムーズな博物館運営ができるように県が実施する必要がある。

[総合評価]

方向性	現状維持
改善計画等	・入館者増加を図るため、県の広報媒体を活用した積極的なPR

事業名	地域の文化活動支援事業 (地域から文化力推進事業)	事業の目的	大分県出身の日本画家で文化勲章受章者の故高山辰雄画伯の功績を顕彰するとともに、県内の子どもたちの創造性豊かな表現力を高めていくため、「第27回高山辰雄賞ジュニア美術展」の開催経費の一部を補助する。	事業期間	平成20年度 ～ 平成22年度
-----	------------------------------	-------	--	------	-----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)	
地域の文化活動支援事業	高山辰雄賞 ジュニア 美術展 実行委員会	児童・生徒	第27回高山辰雄賞ジュニア美術展の開催支援 開催期日：平成21年8月21日～8月30日 展示会場：大分県立芸術会館 応募数：114,710作品 入賞者数：推奨 約1,000点、うち優勝11点 入場者数：7,388名	決算額		1,500	1,542	1,542	
				財源内訳	国庫支出金				
					繰入金		1,500	1,542	1,542
					一般財源				
				職員数(人)		0.2	0.2	0.2	
				人件費		2,000	2,000	2,000	
				合計		3,500	3,542	3,542	

[事業の成果等]

保育園、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校から約11万5千点もの作品が応募されるなど、子どもたちの表現力や感性、創作意欲を伸ばすことに寄与した。

[成果指標・実績]

(単位：作品)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
成果指標	応募作品数	目標値		100,000	100,000	100,000		達成	
		実績値		115,270	114,710				
		達成率		115.3%	114.7%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている (拡大困難)	・美術芸術団体・新聞社・大分市等行政関係者で構成する実行委員会で実施	31円/作品	21年度決算額合計 / 応募作品数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	民間団体による実施が妥当	県内全域の幼稚園生から高校生までほぼ全ての子どもが参加している全国でも例のない事業であり、県の関与は必要である。

[総合評価]

方向性	現状維持
改善計画等	・実行委員会構成団体とのより一層の連携